



## 平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月14日

上場会社名 あかつきフィナンシャルグループ株式会社

上場取引所 大

コード番号 8737 URL <http://www.akatsuki-fg.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 工藤 英人

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長兼総合企画室長 兼財務経理部長 (氏名) 川中 雅浩

TEL 03-6821-0606

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		純営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	1,383	△4.3	1,300	△6.7	△387	—	89	—	△106	—
23年3月期第2四半期	1,446	△15.3	1,394	△16.9	△446	—	△352	—	△241	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 △154百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 △465百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	△1.81	—
23年3月期第2四半期	△4.15	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第2四半期	15,010	3,387	22.6	57.64
23年3月期	19,661	3,541	18.0	60.26

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 3,387百万円 23年3月期 3,541百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

24年3月期の期末における配当予想は未定であります。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 ー社 (社名) 、 除外 ー社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	59,458,171 株	23年3月期	59,458,171 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	11,580,922 株	23年3月期	11,580,043 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	58,777,158 株	23年3月期2Q	58,332,412 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外ではありますが、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 .....	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 .....	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項 .....	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 .....	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 .....	3
3. 四半期連結財務諸表 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(4) 継続企業の前提に関する注記 .....	11
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	11
(6) 重要な後発事象 .....	11
4. 補足情報 .....	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日から平成23年9月30日まで）における我が国経済は、東日本大震災により寸断されたサプライチェーンの立て直しに伴い、生産や輸出に持ち直しの動きがみられるようになりました。しかし、世界景気の後退懸念、また国内の電力供給の制約や原子力災害の影響に加え、歴史的な円高水準が継続するなど、依然として先行き不透明な状態が続いております。

このような環境の中、株式市場におきましては、震災の影響により軟調なスタートとなりましたが、米国の株価上昇や国内景気の持ち直しへの期待感から日経平均株価が10,000円台を回復する場面もありました。しかし米国のソブリン債の格付け引下げや欧州債務問題の深刻化などに影響され、日経平均株価は9月に終値ベースで8,374円13銭まで下落し平成21年4月以来の2年半ぶりの安値をつけ、平成23年9月末は、8,700円29銭で取引を終了いたしました。

当社グループにおきましては、平成23年6月開催の定時株主総会で承認を得たことにより、平成23年8月1日付で商号を『黒川木徳フィナンシャルホールディングス株式会社』から『あかつきフィナンシャルグループ株式会社』に変更し、また当社グループの中核事業である証券事業を担う『黒川木徳証券株式会社』におきましても、『あかつき証券株式会社』と商号変更いたしました。

また、現在の当社グループは、証券事業を中心とする成長拡大の第2ステージとして、あかつき証券(株)において強みを有するリテール営業による株式委託取引や投資信託販売を中心に、営業基盤の強化と安定した収益構造の構築を図っており、同社は顧客の信用取引の需要に対応して、順調に信用取引残高を増加・拡大してまいりました。

今後、同社の顧客の信用取引に関する旺盛な需要に応え、さらに成長させるため、同社の財務基盤の強化が必要となっており、同社のさらなる営業基盤の拡大のための資金ニーズに対応すべく、平成23年9月に第三者割当による無担保転換社債型新株予約権付社債の発行を行いました。

また、無担保転換社債型新株予約権付社債の割当先の1社であるマネックスグループ(株)（以下「マネックス」という。）との間で、マネックス及び同社グループが独自に組成・提供する投資信託・債券等の金融商品を当社証券事業子会社であるあかつき証券(株)が販売すること、マネックス及び同社グループによる投資助言サービス及び独自に発行する投資情報をあかつき証券(株)へ提供すること、マネックス及び同社グループからあかつき証券(株)に出向者を送り特に同社の商品企画部門等の強化を行うことなどを内容とする業務提携契約を締結いたしました。

これにより、あかつき証券(株)は、同社の顧客に対して、金融商品の選択に関してのより幅広い選択肢や、投資情報に関しての多様且つタイムリーな情報の提供が可能になり、同社と競合する対面型証券会社との差別化を図り、証券事業の拡大に努めてまいります。

当第2四半期連結累計期間の当社グループの業績は以下のとおりであります。

当第2四半期連結累計期間については、前述いたしましたとおり、株式市場が一時は10,000円台に持ち直したものの、その後は下落基調で推移したことに伴い、東証一日平均売買高は21億16百万株（前年同四半期比1.4%増）、売買代金は1兆3,686億円（前年同四半期比6.2%減）となりました。

このような株式市場の中で、当社の連結子会社であるあかつき証券(株)の当第2四半期連結累計期間の業績は、受入手数料1,175百万円（前年同四半期比1.8%減）、トレーディング損益59百万円（前年同四半期比27.7%減）、営業損失318百万円、経常損失301百万円、四半期純損失310百万円となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は1,383百万円（前年同四半期比4.3%減）、営業損失は387百万円（前年同四半期は営業損失446百万円）となりましたが、営業外収益に負ののれん償却額375百万円を計上したことにより、経常利益は89百万円（前年同四半期は経常損失352百万円）となりました。しかし特別損失に訴訟損失引当金繰入額226百万円を計上したため、四半期純損失は106百万円（前年同四半期は四半期純損失241百万円）となりました。

## (2) 連結財政状態に関する定性的情報

## (資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は11,964百万円(前連結会計年度末は16,408百万円)となり、4,444百万円減少いたしました。これは信用取引資産が減少したことが主な要因であります。固定資産は3,045百万円(前連結会計年度末は3,252百万円)となり、207百万円減少いたしました。これは投資有価証券が減少したことが主な要因であります。

この結果、総資産は15,010百万円(前連結会計年度末は19,661百万円)となり、4,651百万円減少いたしました。

## (負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は7,555百万円(前連結会計年度末は12,840百万円)となり、5,284百万円減少いたしました。これは信用取引負債が減少したことが主な要因であります。固定負債は4,003百万円(前連結会計年度末は3,219百万円)となり、784百万円増加いたしました。これは転換社債型新株予約権付社債を発行したことが主な要因であります。

この結果、負債合計は11,622百万円(前連結会計年度末は16,119百万円)となり、4,497百万円減少いたしました。

## (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は3,387百万円(前連結会計年度末は3,541百万円)となり、154百万円減少いたしました。これは、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少が主な要因であります。

この結果、自己資本比率は22.6%(前連結会計年度末は18.0%)となりました。

## (3) 連結業績予想に関する定性的情報

当社グループは、投資金融サービス業を営んでおり、事業の特性上、株式市況・為替相場・商品市況の動向により大きく影響を受ける傾向があります。このため、業績予想を公表することが株主・投資家の皆様の合理的な投資判断の形成に有用とはいえないため、業績予想の開示を控えさせていただきます。

## 2. サマリー情報(その他)に関する事項

## (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

## (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

## (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金・預金	3,089,024	3,238,047
預託金	4,008,483	2,411,483
顧客分別金信託	3,929,000	2,332,000
金融商品取引責任準備預託金	79,483	79,483
信用取引資産	8,869,679	5,703,613
信用取引貸付金	8,681,456	5,646,611
信用取引借証券担保金	188,223	57,002
その他の流動資産	483,707	638,742
貸倒引当金	△41,924	△27,046
流動資産計	16,408,970	11,964,839
固定資産		
有形固定資産	407,497	417,527
無形固定資産	10,283	11,246
投資その他の資産	2,835,079	2,616,942
投資有価証券	2,380,114	2,203,232
その他	777,954	724,338
貸倒引当金	△322,989	△310,629
固定資産計	3,252,859	3,045,716
資産合計	19,661,830	15,010,556
<b>負債の部</b>		
流動負債		
信用取引負債	8,363,236	3,962,025
信用取引借入金	8,056,109	3,857,436
信用取引貸証券受入金	307,127	104,588
預り金	2,764,178	2,415,150
顧客からの預り金	2,566,656	2,131,625
その他の預り金	197,521	283,525
1年内返済予定の長期借入金	600,000	100,000
未払法人税等	25,708	18,779
賞与引当金	68,760	62,780
その他の流動負債	1,018,238	997,088
流動負債計	12,840,121	7,555,824
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	—	1,021,000
長期借入金	614,000	614,000
退職給付引当金	285,243	279,846
役員退職慰労引当金	122,190	50,560
訴訟損失引当金	—	226,881
負ののれん	2,082,356	1,706,634
その他の固定負債	115,284	104,211
固定負債計	3,219,073	4,003,134
特別法上の準備金		
金融商品取引責任準備金	60,784	63,818
特別法上の準備金計	60,784	63,818
負債合計	16,119,980	11,622,777

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,790,407	2,790,407
資本剰余金	75,500	75,500
利益剰余金	790,246	683,670
自己株式	△101,985	△102,019
株主資本合計	3,554,168	3,447,558
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,843	△53,875
為替換算調整勘定	△6,475	△5,903
その他の包括利益累計額合計	△12,318	△59,779
純資産合計	3,541,849	3,387,778
負債・純資産合計	19,661,830	15,010,556

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業収益		
受入手数料	1,195,084	1,174,550
トレーディング損益	81,871	59,183
金融収益	95,780	85,295
その他	73,890	64,779
営業収益計	1,446,626	1,383,808
金融費用	52,278	38,885
売上原価	—	44,022
純営業収益	1,394,347	1,300,900
販売費・一般管理費	1,840,393	1,688,013
取引関係費	61,416	44,442
人件費	1,065,725	1,000,222
不動産関係費	149,847	152,904
事務費	158,879	146,175
減価償却費	36,599	32,899
租税公課	17,689	27,692
貸倒引当金繰入れ	15,720	—
その他	334,514	283,676
営業損失(△)	△446,045	△387,113
営業外収益	93,586	513,224
負ののれん償却額	—	375,721
持分法による投資利益	41,973	78,825
投資有価証券売却益	26,021	11,098
その他	25,591	47,579
営業外費用	72	36,478
支払利息	—	9,438
社債発行費	—	11,428
社名変更費用	—	14,168
その他	72	1,442
経常利益又は経常損失(△)	△352,531	89,633
特別利益		
子会社清算益	—	50,349
貸倒引当金戻入額	600	—
特別利益	600	50,349



(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
特別損失		
投資有価証券評価損	—	7,513
固定資産除却損	—	2,278
金融商品取引責任準備金繰入れ	4,570	3,033
訴訟損失引当金繰入額	—	226,881
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,771	—
その他	526	—
特別損失	36,867	239,707
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,799	△99,724
法人税、住民税及び事業税	7,213	6,851
法人税等合計	7,213	6,851
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△396,013	△106,575
少数株主損失(△)	△154,218	—
四半期純損失(△)	△241,794	△106,575

(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△396,013	△106,575
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△60,590	△37,797
持分法適用会社に対する持分相当額	△8,880	△9,663
その他の包括利益合計	△69,471	△47,460
四半期包括利益	△465,484	△154,036
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△308,435	△154,036
少数株主に係る四半期包括利益	△157,048	—

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純損失(△)	△388,799	△99,724
減価償却費	36,599	38,894
負ののれん償却額	—	△375,721
貸倒引当金の増減額(△は減少)	15,120	△27,238
賞与引当金の増減額(△は減少)	△23,140	△5,980
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△6,880	△5,397
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	23,790	△71,630
訴訟損失引当金の増減額(△は減少)	—	226,881
投資有価証券売却損益(△は益)	△26,021	△11,098
投資有価証券評価損益(△は益)	—	7,513
子会社清算損益(△は益)	—	△50,349
受取利息及び受取配当金	△17,230	△10,794
支払利息	331	14,384
持分法による投資損益(△は益)	△41,973	△78,825
固定資産除却損	526	2,278
社債発行費	—	11,428
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	31,771	—
預託金の増減額(△は増加)	343,000	1,597,000
差入保証金の増減額(△は増加)	111,139	148,872
信用取引資産及び信用取引負債の増減額	△430,286	△1,235,145
立替金及び預り金の増減額	△3,449	△354,986
受入保証金の増減額(△は減少)	33,939	△13,740
金融商品取引責任準備金の増減額(△は減少)	4,570	3,033
その他	△50,208	57,258
小計	△387,200	△233,086
利息及び配当金の受取額	17,334	10,778
利息の支払額	△331	△467
訴訟供託金の支払額	—	△226,200
法人税等の支払額	△13,780	△12,385
営業活動によるキャッシュ・フロー	△383,977	△461,361
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△8,445	△26,652
投資有価証券の取得による支出	△18,476	—
投資有価証券の売却による収入	183,405	70,366
関係会社株式の取得による支出	△62,022	—
子会社の清算による収入	—	160,533
長期前払費用の増減額(△は増加)	△190	△728
出資金の払込による支出	△500	—
貸付けによる支出	△1,000	△501,750
貸付金の回収による収入	4,201	502,993
預け金の預入による支出	—	△100,000
その他	18,953	△406
投資活動によるキャッシュ・フロー	115,925	104,356

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	—	△500,000
リース債務の返済による支出	△3,482	△3,770
転換社債型新株予約権付社債の発行による収入	—	1,009,571
株式の発行による収入	70,542	—
自己株式の取得による支出	—	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー	67,060	505,766
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△200,992	148,761
現金及び現金同等物の期首残高	4,138,879	3,046,177
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,937,887	3,194,939

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象

(あかつき証券(株)における希望退職者募集)

当社の連結子会社であるあかつき証券(株)は、平成23年10月28日開催の同社取締役会において、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

1. 希望退職者募集の理由

当社グループを取り巻く経営環境は、ギリシャ危機を発端とする世界的な金融不安の深刻化や景気後退懸念が増大しており、非常に厳しい状況が続いております。

あかつき証券(株)におきましては、現状の株式市況の悪化による営業収益の減少に対応すべく、信用取引残高の拡大及び投資信託の販売強化による収益の拡大・多様化を図り、その一方において役員及び執行役員報酬の減額、通信・運送費の削減などあらゆる経費削減・効率化を行い、収支改善に取り組んでまいりました。

しかし、現状の厳しい経営環境は更に長期化することが予想され、現在の収益状況に見合う適正な人員体制を実現し、生産性の向上を図ることが喫緊の課題であると判断し、希望退職者の募集を行うことを決議いたしました。

2. 募集の概要

(1) 対象者 平成23年10月31日時点であかつき証券(株)に在籍する全従業員

(2) 募集人数 30名程度

(3) 募集期間 平成23年11月14日から平成23年11月22日まで

(4) 退職日 平成23年11月30日

(5) その他 退職者には、退職金に加え特別加算金を支給するとともに、再就職支援会社を通じた再就職支援を行う。

3. 損益に与える影響

当四半期決算短信提出日現在では募集期間が終了しておらず、現時点では応募者数等が確定していないため、損益に与える影響は未確定であります。

## 4. 補足情報

主要な連結子会社であるあかつき証券(株)の業績の概況

## (1) 受入手数料

区分	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期増減率(%)
証券取引		
委託手数料	829,567	△8.9
募集・売出し・特定投資家向け売付け勧誘等の取扱手数料	250,226	15.3
その他の受入手数料	95,287	38.7
合計	1,175,081	△1.8

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (2) トレーディング損益

区分	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日至平成23年9月30日)	
	金額(千円)	前年同四半期増減率(%)
証券取引		
株券等トレーディング損益	59,117	△27.6
債券等・その他トレーディング損益	65	△69.5
債券等トレーディング損益	0	△91.4
その他のトレーディング損益	65	△69.4
合計	59,183	△27.7

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

## (3) 自己資本規制比率

区分		当第2四半期連結会計期間末 (平成23年9月30日)
基本的項目(百万円) (A)		2,894
補完的項目(百万円)	金融商品取引責任準備金等	63
	一般貸倒引当金	27
	長期劣後債務	500
	計 (B)	590
控除資産(百万円) (C)		737
固定化されていない自己資本の額(百万円) (A) + (B) - (C) (D)		2,747
リスク相当額(百万円)	市場リスク相当額	—
	取引先リスク相当額	124
	基礎的リスク相当額	793
	計 (E)	918
自己資本規制比率(%) (D) / (E) × 100		299.1